

香取市総合計画 後期基本計画検証

No	施策番号	施策名	指標名	設定目標			達成状況			達成区分	指標検証	担当課
				単位	計画策定時(H23)	目標(H29)	H28年度実績	H29年度実績	前年度比			
1	1-1	農林畜産業	認定農業者数	人	241	260	361	363	↑	達成済	各種補助事業が認定農業者に集中させる施策となってきたことから、今後も増加が見込まれる。	農政課
2	1-1	農林畜産業	集落営農組織数	組織	16	30	41	51	↑	達成済	人・農地プランの作成を通じ、将来の担い手不足から集落営農組織立ち上げの機運が高まっている。	農政課
3	1-1	農林畜産業	利用権設定等面積	ha	2,427	2,800	3,145	3,547	↑	達成済	農家の高齢化や後継者不足から規模縮小、離農が見込まれ、担い手経営体への集積・集約化がさらに加速すると推測される。	農政課
4	1-1	農林畜産業	香取ブランド認定数	品	9	11	9	9	-		ブランド選定基準が曖昧なうえ、差別化できないなど、ブランド化が確立していない状況にある。	農政課
5	1-1	農林畜産業	耕作放棄地面積	ha	502	480	503	515	↓		山間谷津田や耕作条件の悪い農地が借り手もおらず放置されている状況にあることから、今後も増加が見込まれる。	農政課
6	1-2	商業	商品販売額	億円	1,353	1,400	-	1,173	-		成果指標上の数値は明らかになっていないが、商品販売額及び商業従事者数については、減少傾向にあることが推量される。	商工観光課
7	1-2	商業	新規開業者数	件	4	10	10	14	↑	達成済	新規開業者数については、平成28年度に累計10店舗となり目標を達成した。平成29年度は補助内容を拡充し、より積極的な制度活用を促進したことにより、4件店舗が開業した。ただし、依然として、閉店・廃業は増加傾向にあり、今後、廃業させないための事業承継や既存商店の経営力強化などが課題となる。	商工観光課
8	1-2	商業	商業従事者数	人	7,018	7,100	-	5,021	-		成果指標上の数値は明らかになっていないが、商品販売額及び商業従事者数については、減少傾向にあることが推量される。	商工観光課
9	1-3	工業・企業誘致	誘致企業数	社	3	10	12	14	↑	達成済	平成29年度にも1社の誘致等が決定するなど、目標を上まわるペースで進んでいる。また、誘致企業の従業員の募集、採用が行われており、今後も雇用者の増が見込まれる。	商工観光課
10	1-3	工業・企業誘致	製造業従業者数	人	2,873	3,000	2,812	-	-		製造業従業者数及び製造業事業所数は減少傾向にあり、目標値の達成が難しい状況にある。 経済センサス-活動調査(H28)	商工観光課
11	1-3	工業・企業誘致	製造業事業所数	社	122	130	115	-	-			商工観光課
12	1-4	観光	年間観光入込客数	万人	636	774	694	684	↓		日本遺産認定やユネスコ無形文化遺産登録等を活用したプロモーション展開等により香取市の認知度向上に繋がっているが、入込客数については横ばいとなっている。平成29年度は、佐原の大祭(秋祭り)及び小見川火花大会の悪天候が影響し、前年度を下回っている。	商工観光課
13	1-4	観光	小野川周辺の観光客平均滞在時間	H	2~3	5	-	-	-		調査アンケート未実施。	商工観光課

香取市総合計画 後期基本計画検証

No	施策番号	施策名	指標名	設定目標			達成状況			達成区分	指標検証	担当課
				単位	計画策定時(H23)	目標(H29)	H28年度実績	H29年度実績	前年度比			
14	1-4	観光	平均旅行消費額	円	4,913	6,500	-	-	-		調査アンケート未実施。	商工観光課
15	1-5	雇用・労働	就業対策セミナー参加者数	人/回	13	20	3	10	↑		有効求人倍率が「1.00」を超えており、セミナーへの参加者は目標値を大きく下回っている。平成29年度は、市単独開催から県東総地区での広域開催となり、参加者が増加している。	商工観光課
16	1-5	雇用・労働	シルバー人材センターへの会員数	人	370	430	319	299	↓		シルバー人材センターの会員数は、高齢化による脱退と新規加入者の減少により減少傾向にある。	商工観光課
17	2-1	自然環境	河川のBOD環境基準の達成率	%	63.0	65.0	56.7	63.3	↑		目標値はほぼ達成しているものの、対象河川が下流域であることから湖沼化しており、色などの景観も含めると必ずしも満足するレベルには至っていない	環境安全課
18	2-1	自然環境	環境ボランティア団体登録者数	人	380	450	459	465	↑	達成済	ボランティア登録者の高齢化とあいまって、団体登録者数も横ばいである。若い世代が環境に関心を持つ機会と継承が急務である。	環境安全課
19	2-1	自然環境	再生可能エネルギーの導入量	kw	288	3,200	2,755	2,989	↑		震災後の住宅復興により、導入量が大きく伸びたが、近年は、買取価格の下落もあり鈍化傾向にある。今後消費税の引き上げも予定される中ではあるが、引き続き導入の推進に努める。	環境安全課
20	2-2	廃棄物処理・省資源	市民1人1日あたりのゴミ排出量	g/人・日	1,050	1,000	984	1,039	↓		平成28年度は目標値を達成したが、平成29年度は排出量の増加により、未達成となる。排出量増加の要因を検証・分析し、排出量抑制を図る。	環境安全課
21	2-2	廃棄物処理・省資源	リサイクル率	%	15.0	30.0	16.3	16.0	↓		リサイクル率は、目標値を大きく下回っており、より一層の分別を励行して、可燃及び不燃系からの資源化を推進する。	環境安全課
22	2-2	廃棄物処理・省資源	資源回収実施団体数	団体	49	75	40	40	-		ごみの減量化と再資源化を推進する有効的な施策として、今後も各種団体等に協力を呼び掛ける。	環境安全課
23	2-3	公園・緑地水辺空間	市民1人あたりの公園面積	m ²	6.08	6.50	6.54	6.63	↑	達成済	人口減少及び都市計画区域の拡大に伴い都市公園面積が増加している。	都市整備課
24	2-4	交通安全・防犯	人口1,000人当たりの交通事故発生件数	件	3.229	3.025	3.334	2.972	↑	達成済	発生件数は年々減少しているが、依然として県平均(2.882件)を上回っている状況にある。個々の交通ルール遵守と交通マナーの実践が不足している。	環境安全課
25	2-4	交通安全・防犯	人口1,000人当たりの刑法犯認知件数	件	10.048	10.048	7.035	7.563	↓	達成済	県平均(8.468件)より低い数値であり、発生件数も年々減少傾向にはあるものの、車上狙い、忍込み、詐欺等は増加している。	環境安全課
26	2-5	消防・救急、防災体制	自主防災組織の組織率	%	25	31	38	38	-	達成済	目標値こそ超えているものの千葉県でのカバー率63.5%に比べても、決して高い値とは言えない状況であり、引き続き新規組織の設立を推進するとともに、既存組織への活動促進に努める必要がある。	総務課

香取市総合計画 後期基本計画検証

No	施策番号	施策名	指標名	設定目標			達成状況			達成区分	指標検証	担当課
				単位	計画策定時(H23)	目標(H29)	H28年度実績	H29年度実績	前年度比			
27	2-5	消防・救急、防災体制	自主防災組織の組織数	団体	102	127	111	113	↑		現在、115組織（H30.10月1日現在）が設立しているが、組織率が38.2%で千葉県のカバー率からしても低い状況である。	総務課
28	2-5	消防・救急、防災体制	救命講習受講者数（年間）	人/年	770	1,000	1,334	1,758	↑	達成済	消防署が主体となり、地域住民による自主的な防災訓練時や消防団員等の育成として受講者を募集し、救命講習を実施している。また、近年、自主防災組織からの講習要請が増えてきている。	総務課
29	2-6	市民相談・消費者相談	消費生活相談の対応日数	回/週	3	5	5	5	-	達成済	平成25年4月から香取市消費生活センターの相談体制を週5回の相談体制へ充実している。	市民協働課
30	2-6	市民相談・消費者相談	消費生活講座の参加人数	人/年	64	100	93	82	↓		消費生活相談への相談件数は年々増加している。同講座の周知を図り、参加人数の増加に努めるとともに消費生活に係るトラブルを未然に防いでいく。	市民協働課
31	2-6	市民相談・消費者相談	無料法律相談の実施日数	回/月	4	4	4	4	-	達成済	法律相談日を毎月4回の開催としている。	市民協働課
32	3-1	地域福祉	ボランティア団体数	団体	89	増加	88	89	↑		ボランティア団体を設立にあたり、団体の発起人となる新たな人材の発掘が難しい状況にある。	社会福祉課
33	3-1	地域福祉	見守りネットワーク申込者数	人	219	1,000	549	556	↑		新規加入がある一方で、施設入所や死亡等による除外があるため、登録者数は横ばい状態となっている。	社会福祉課
34	3-2	子育て	地域子育て支援センターの利用者数	人	11,096	15,000	14,227	20,253	↑	達成済	利用者は増加傾向にある。平成28年度には2カ所、29年度には1カ所増設した。今後、平成30年度に小見川地域に1カ所開設するほか、栗源地域や市街地への設置について検討する。	子育て支援課
35	3-2	子育て	ファミリーサポートセンター会員登録数	人	25	40	47	33	↓		登録者は増加しているものの、利用数は伸びていない。一時預かり事業などの他の保育支援サービスを利用していると思われる。しかし、緊急時の受け皿の確保として、引き続き事業の周知や利用しやすい環境整備を推進する。	子育て支援課
36	3-2	子育て	市内保育所の待機児童数	人	0	0	0	0	-	達成済	3歳未満児の入所希望者が増加しているが、希望保育所に入所できない場合、一時保育や育児休業の延長で対応している。対応可能な施設整備と保育士の確保が必要である。	子育て支援課
37	3-2	子育て	幼保一元化施設の整備	施設	0	2	1	1	-		平成29年度に1カ所（おみがわこども園）開設。2カ所目（（仮称）佐原認定こども園）については、平成32年度の開所に向けて、整備を進めている。	子育て支援課
38	3-2	子育て	放課後児童クラブの設置数	か所	8	11	15	15	-	達成済	平成27年度末で15カ所を整備し目標を達成している。今後は、民間児童クラブとの連携を図りつつ未整備地域への整備検討や学校敷地以外で開設しているクラブの移設及び拡張、運営業務の委託等の可能性について検討を進める。	子育て支援課
39	3-3	高齢者福祉	転倒予防教室参加者数	人	464	530	1,629	2,453	↑	達成済	受講希望者が多く開催数を増やし実施している状況である。リピーターも多いことから、今後は地区に向いた教室開催による新規参加者の掘り起こし、教室修了者の自主グループ化等の対応が必要である。	高齢者福祉課

香取市総合計画 後期基本計画検証

No	施策番号	施策名	指標名	設定目標			達成状況			達成区分	指標検証	担当課
				単位	計画策定時(H23)	目標(H29)	H28年度実績	H29年度実績	前年度比			
40	3-3	高齢者福祉	介護ボランティア養成講座参加者数	人	37	60	16	71	↑	達成済	介護ボランティア養成講座の参加者は年々減少傾向にあったため、平成28年度からは介護予防サポーター養成講座として開催している。終了者は介護予防のための地域サロンの立ち上げや運営を行うボランティアとして活動している。	高齢者福祉課
41	3-3	高齢者福祉	要介護（支援）認定者割合	%	13.4	15.0以下	14.8	15.6	↓		要介護（支援）割合は、目標値である15%前後を推移している。介護予防に関する施策の充実を図り改善を図りたい。	高齢者福祉課
42	3-4	障害者福祉	一般就労移行者数	人/年	3	11	29	30	↑	達成済	今後もハローワークなどと連携し、障害者雇用に関わる制度・施策の周知、就労移行支援のサービス利用の促進を図る。	社会福祉課
43	3-4	障害者福祉	福祉施設利用者数	人	193	296	371	383	↑	達成済	サービス利用者や福祉施設数（事業所）の増加等により、目標値である利用者数は達成している。引き続き、サービス利用の促進を図る。	社会福祉課
44	3-4	障害者福祉	在宅障害福祉サービス利用者	人/年	400	500	467	503	↑	達成済	サービス利用者や福祉施設数（事業所）の増加等により、利用者数は目標に近い数値となっている。引き続き、目標に向けて、サービス利用の促進を図る必要がある。	社会福祉課
45	3-5	健康づくり・地域医療	乳児健康診査の受診率	%	95.9	100.0	95.4	95.5	↑		平成29年度は若干増加しているが、全体では、横ばい状態にある。未受診者については、電話、母子保健推進員の訪問、担当保健師の訪問等により、未受診の理由の把握に努めていく。	健康づくり課
46	3-5	健康づくり・地域医療	幼児健康診査の受診率	%	89.3	100.0	94.4	94.1	↓		平成29年度は若干減少しているが、全体では、横ばい状態にある。未受診者については、電話、母子保健推進員の訪問、担当保健師の訪問等により、未受診の理由の把握に努めていく。	健康づくり課
47	3-5	健康づくり・地域医療	がん検診の受診率	%	19.8	25.0	22.6	22.0	↓		個別負担が開始されたが、若干の減少とどまっている。引き続き、過去2年の受診者に対しては個別通知を行っていく。また、検診開始年齢に達した人には、受診勧奨の個別通知（ハガキ）を送る。その他、市広報・ホームページ・健康づくりだより等により周知し、新規受診者への勧奨に努めていく。	健康づくり課
48	3-5	健康づくり・地域医療	インフルエンザ予防接種の接種率（高齢者）	%	49.2	50.0	47.8	43.9	↓		ワクチン供給が遅れたことにより一時的に減少しているが、引き続き、広報・ホームページ等で周知し、接種率の向上に努める。今年度は、ワクチン供給遅延のため、平成30年1月末まで助成期間を延長した。	健康づくり課
49	3-6	社会保障	国民健康保険被保険者1人当たりの総医療費	円	270,458	297,504	343,851	350,137	↓		少子高齢化や医療の高度化に伴い1人あたりの医療費は年々増加している。レセプト点検・資格の適正化の強化、健康推進事業の充実など、継続して医療費の抑制対策が必要である。	市民課
50	3-6	社会保障	国民健康保険税徴収率	%	87.10	90.00	90.71	91.80	↑	達成済	景気低迷や医療費負担増により徴収率の伸びは微増である。口座振替の勧奨や休日納付相談を実施しているが、県の規模別収納率目標には達していない。	市民課
51	3-6	社会保障	特定健康診査の実施率	%	39.0	60.0	49.0	48.2	↓		本市の疾病状況に有効な検査項目の設定、未受診者への受診勧奨通知などの周知活動により受診率は県内上位であるが、まだ国の目標値60%には達していない。	市民課
52	3-6	社会保障	特定保健指導実施率	%	17.6	60.0	14.7	11.6	↓		生活習慣病は自覚症状がなく、指導期間も長期であることから実施率は低迷している。他市の実施方法を参考に受診率の向上に努めていく必要がある。	市民課

香取市総合計画 後期基本計画検証

No	施策番号	施策名	指標名	設定目標			達成状況			達成区分	指標検証	担当課
				単位	計画策定時(H23)	目標(H29)	H28年度実績	H29年度実績	前年度比			
53	3-6	社会保障	後期高齢者医療保険料徴収率	%	98.03	99.00	99.45	99.20	↓	達成済	後期高齢者医療も制度や事業に対して理解が得られてきたが、徴収率は横ばいである。今後は高齢化が加速するため、さらに広報活動などを充実させ制度を理解の求め収納率向上を図る必要がある。	市民課
54	3-6	社会保障	自立世帯数	世帯/年	-	5	2	11	↑	達成済	平成28年度以外は目標値を達成しているが、稼働年齢層の生活困窮者には様々な問題を抱えている方が多く、年度により成果はばらつきがある。今後も個別支援を強化し稼働年齢層の就労支援を行っていく。	社会福祉課
55	4-1	学校教育	学校耐震化対策の未対応校舎の棟数	棟	11	0	0	0	-	達成済	耐震化工事及び天井等落下対策工事ともに、平成27年度末にすべて完了し、耐震化率100%となっている。	教育総務課
56	4-1	学校教育	学校再編後の小中学校数	校	33	28	29	29	-		学校再編については、平成27年4月に湖東小と新島小が、H28年4月に佐原第三中が佐原中に統合した。また、平成30年4月には小見川南小が小見川中央小に統合、平成31年4月には山田地区の小学校5校が統合、平成32年4月には福田小学校と神南小学校の統合が決定している。	教育総務課
57	4-1	学校教育	特別支援教育研修会受講済み教員数の割合	%	約25	75.0	98.0	98.0	-	達成済	特別支援教育の充実に向け、担当教諭のみならず管理職や通常学級担任も対象とした研修会を実施してきた。今後、支援を要する児童生徒の増加が予想され、教職員の専門性をさらに高めるため研修の機会を与えられるよう努める。	学校教育課
58	4-2	青少年育成	ジュニアリーダー登録数	人	18	33	20	15	↓		青少年教育支援で中心を担うのは青少年相談員、子ども会育成者、ジュニアリーダーとなるが、登録者数は、目標を減少している状況にある。今後は登録者数を増やすため、様々な機会での周知を行っていく。	生涯学習課
59	4-2	青少年育成	単位子ども会への参加率(加入率)	%	56.8	75.0	31.4	18.4	↓		年々、市子連から単位子ども会が脱退し加入率が低下している。今後加入率を上げるための取り組みを精力的に進めていかなければならない。	生涯学習課
60	4-2	青少年育成	通学合宿実施小学校数	校	2	5	3	4	↑		異なる学校、学年の小学生が共同生活し、自主性・協調性を高め心豊でたくましい力を育むことできる同事業への応募者は年々増加している。市面積が広く、宿泊施設(小見川ホープコミュニティセンター)からの登下校に時間を要するため、学区内校を含まない場合5校が限度となる。	生涯学習課
61	4-3	生涯学習	生涯学習ボランティアの登録者数(人材バンク制度)	人	66	100	40	42	↑		登録者の高齢化が顕著であり、若い新規登録者を増やしていくことが課題となる。	生涯学習課
62	4-3	生涯学習	一日の資料貸出冊数(人口1,000人あたり)	冊	6.8	8.0	9.6	9.7	↑	達成済	市内2館2室が電子ネットワークで結ばれたことによる利便性が向上。読書手帳システムの導入も相まって貸出数は、増となっている。	生涯学習課
63	4-4	スポーツ活動	スポーツ少年団員数	人	720	720	560	583	↑		目標値には達してはいないものの、少子化が進む中で、団員数が横ばいで維持している。要因としては、スポーツ少年団活動に対する支援や市民(保護者)のスポーツに関する意識の高さでと考えられる。	生涯学習課
64	4-4	スポーツ活動	体育協会会員数	人	3,719	5,000	4,204	4,225	↑		目標値には達してはいないものの、体力向上や健康増進についての関心の高まりとともに会員数は年々増加している。	生涯学習課
65	4-4	スポーツ活動	スポーツ施設利用者数	人/年	225,905	284,500	273,117	270,384	↓		高齢者の健康意識の高まりにより、体育館などの屋内施設については、増加傾向にある。	生涯学習課

香取市総合計画 後期基本計画検証

No	施策番号	施策名	指標名	設定目標			達成状況			達成区分	指標検証	担当課
				単位	計画策定時(H23)	目標(H29)	H28年度実績	H29年度実績	前年度比			
66	4-5	歴史文化	国指定史跡の追加指定及び公有化数	件	1	2	1	1	-		発掘調査報告書を基に、国指定史跡の追加指定や新規指定について国・県及び所有者と協議を進めている。伊能忠敬旧宅跡は公有地化済み。	生涯学習課
67	4-5	歴史文化	復旧する文化財の数	件	2	6	7	7	-	達成済	個人所有の県指定建造物7件は修復が完了。佐原三菱館は保存修理に係る実施設計、工事を実施していく。	生涯学習課
68	4-5	歴史文化	指定文化財説明板の設置数	件	116	125	120	121	↑		市内の指定・登録・選定文化財数は186件となっている。説明板の設置が可能なものについては、所有者負担の理解を得ながら年間1件を目標に事業を実施。	生涯学習課
69	5-1	土地利用	用途地域内等の宅地等面積	千㎡	6,218	6,240	-	-	-		-	都市整備課
70	5-2	市街地整備	小野川周辺の観光入込客数	万人/年	33.0	58.1	56.8	65.3	↑	達成済	災害復旧の完了、電線地中化の整備が進み、景観が向上するにつれ、来街者は増加している。	都市整備課
71	5-2	市街地整備	小見川地域への観光入込客数	万人/年	33.2	41.7	37.9	29.7	↓		平成29年度は、「小見川祇園祭」の入込客数は増加したものの、「水郷おみがわ花火大会」は、雨天での開催であったため、入込客数は大きく減少している。	都市整備課
72	5-2	市街地整備	佐原駅前広場利用者の満足度	点	40.4	52.0	-	64.2	-	達成済	歩道の交通安全性、一般車の乗降・駐車スペースなど、あらゆる面で満足度の向上がみられる。	都市整備課
73	5-2	市街地整備	小見川駅前広場利用者の満足度	点	40.0	52.0	-	-	-		平成30年度に調査を実施。速報値では、68.8点/人であり、小見川の玄関口としてのふさわしさ、一般車の乗降・駐車スペースなど、あらゆる面で満足度の向上がみられる。	都市整備課
74	5-3	居住環境	木造住宅の耐震化率	%	44.2	80.0	47.7	47.7	-		相談会や広報等により周知を図っているものの、制度利用者が少なく、成果につながっていない。今後は、空家の解体、耐震化再利用等の施策検討などを行う。	都市整備課
75	5-3	居住環境	特定建築物の耐震化率	%	84.0	90.0	88.5	90.0	↑	達成済	公共建築物の耐震化が進み、目標値に達した。今後は、民間の耐震化の促進を推進する。	都市整備課
76	5-4	道路整備	道路改良率	%	60.6	62.0	60.9	60.9	-		香取市道の実延長は約1,368kmあるため、道路改良率や舗装率を0.1%上げるには約1,400mを整備する必要がある。財政状況等から判断すると成果指標の道路改良率62.0%と舗装率83.0%とは差があるが、毎年微増ではあるが確実に数値を上がっている。	土木課
77	5-4	道路整備	道路舗装率	%	81.3	83.0	81.3	81.3	-			土木課
78	5-5	公共交通	循環バスの利用者数	人	51,471	54,300	57,141	58,431	↑	達成済	佐原循環バスのうち、観光客向けの周遊ルートの利用者は、年々増加しているが、大戸・瑞穂ルート及び北佐原・新島ルートは減少傾向にある。乗合タクシーは想定利用者数を上回る利用がある。	企画政策課

香取市総合計画 後期基本計画検証

No	施策番号	施策名	指標名	設定目標			達成状況			達成区分	指標検証	担当課
				単位	計画策定時(H23)	目標(H29)	H28年度実績	H29年度実績	前年度比			
79	5-6	上水道	老朽管残存率(石綿セメント管)	%	47.7	40.0	41.7	38.1	↑	達成済	老朽管の布設替えは、漏水発生状況により優先すべき管から布設替えを行っている。しかしながら、管路延長が長く達成率が上がらない状況であるが、今後も引き続き布設替えを行っていく。	水道課
80	5-6	上水道	老朽管残存率(普通铸铁管)	%	100.0	74.0	68.7	20.8	↑	達成済	管路台帳の見直しにより、目標値を大幅に上回った。今後も老朽管の更新を行っていく。	水道課
81	5-6	上水道	収納率(現年度分)	%	97.9	98.2	97.7	98.0	↑		有収率は、老朽管による漏水などと密接な関係があり、老朽管残存率が下がれば有収率の向上に繋がる。前年度と比較し、収納率は若干の向上であるが、経営基盤の安定のため、今後も収納率の向上に努める。	水道課
82	5-7	下水道	水洗化率	%	80.5	84.1	83.2	82.9	↓		処理区域人口の減少率が、接続人口の減少率を下回ったことから水洗化率は減少している。	下水道課
83	5-7	下水道	合併処理浄化槽の設置数	基	2,959	3,439	3,252	3,314	↑		平成29年度の設置数は、62基増と前年度の73基増には、及ばなかったものの、堅調に伸びている。	下水道課
84	6-1	市民協働	住民自治協議会の設立件数	協議会	13	20	21	21	-	達成済	住民自治協議会は、制度施行後7年間で21の協議会が設立されている。住民自治協議会が設立された地域では、地域の良さや課題を見つめて策定した計画に基づき特色ある事業を展開し、地域の絆が強まり活性化が図られて成果が上がっている。	市民協働課
85	6-2	人権	男女共同参画に関する研修等の参加者数	人	200	500	130	230	↑		目標値は達成しているものの千葉県男女共同参画推進員と共催で開催するイベント参加人員は減少傾向にある。	市民協働課
86	6-2	人権	審議会等の女性構成比率	%	26.8	33.0	29.5	26.0	↓		審査会等の女性構成比率は、年々高くなってきていたが、平成29年度に女性構成の高い「香取市母子福祉協力員」が廃止されたことにより、女性構成比率が低下した。	市民協働課
87	6-2	人権	市女性管理職の構成比率	%	7.3	12.0	11.1	11.5	↑		市女性管理職の構成比率は、微増ながら年々高くなっている。	市民協働課
88	6-3	国際交流・地域間交流	通訳ガイドボランティア案内件数	件	25	50	20	65	↑	達成済	町並みでのガイドは増加してきているが、それ以上に成田空港からのバス内でのガイドが全体の2/3を占めるなど大幅に増加している。	市民協働課
89	6-3	国際交流・地域間交流	市民向け英会話講座開催回数	回	4	6	7	10	↑	達成済	外国人講師による「おもてなし英会話」が好評で、リピーターや新規受講生を獲得し回数が増加している。	市民協働課
90	6-3	国際交流・地域間交流	姉妹・友好都市交流事業開催回数	回	4	8	12	12	-	達成済	佐賀県鹿島市児童交流、兵庫県川西市・福島県喜多方市の産業祭への出店、民間団体交流等の事業を実施している。	企画政策課

香取市総合計画 後期基本計画検証

No	施策番号	施策名	指標名	設定目標			達成状況			達成区分	指標検証	担当課
				単位	計画策定時(H23)	目標(H29)	H28年度実績	H29年度実績	前年度比			
91	6-4	市民サービス・行政サービス	市職員数	人	747	650	638	624	↑	達成済	計画管理上の職員数は、合併時の921人から、平成29年度時点で624人と、約32%を削減。組織では、合併時の7部61課5事務局133班体制から、平成29年4月には、5部25課5事務局78班体制へと再編を進めた。この間、特に、課については、36課、約6割を統合・削減した。人件費の削減は、平成29年度普通会計の集計では、決算ベースで約52億5千万円、平成18年度の約72億8千万円と比べ、約20億3千万円、約28%の大幅な減となっている。	総務課
92	6-4	市民サービス・行政サービス	部・課・班の数	部・課・班	7部29課 8センター-88班	5部25課 3センター-78班	5部25課 1センター-77班	5部25課 1センター-78班	↓	達成済		総務課
93	6-4	市民サービス・行政サービス	ウェブサイトのアクセス件数	件/月	104,375	120,000	154,989	216,551	↑	達成済	ホームページの見やすさ等の改善、施設予約等個別システムの改善及び情報提供ポリシーを徹底する。	秘書広報課
94	6-5	行財政運営	経常収支比率	%	83.3	93.5以下	86.5	87.1	↓	達成済	分子となる公債費等の経常支出が増加し、分母となる市税等の経常収入の増加を上回ったことより、前年度比較で0.6ポイント上昇した。	財政課
95	6-5	行財政運営	実質公債費比率	%	10.5	13.0以下	8.6	8.5	↑	達成済	繰上償還による公債費の減少、さらに交付税措置のある公債費の割合が増加したことにより、前年度比較で0.1ポイント改善した。	財政課
96	6-5	行財政運営	将来負担比率	%	92.1	120.0以下	54.6	55.2	↓	達成済	分子となる退職手当負担見込額等は減少したが、分母となる標準財政規模等の減少が上回ったことにより、前年度比較で0.6ポイント上昇した。	財政課
97	6-5	行財政運営	一般市税の徴収率（現年度分）	%	96.5	98.0以上	97.9	98.2	↑	達成済	前年度比較で、0.3ポイント上昇したものの、県内では依然として下位に位置している。	税務課